



事務事業名	5歳児健康相談	事務事業No.	10202000985	所属課	健康推進課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
幼稚園や保育所の集団生活の場に入り特徴が顕著化してくる発達障害は3歳児健診では発見されにくく、支援につながらないまま就学を向かえ、学童期において二次的不適応を引き起こすことが多い。子どもや保護者が安心して就学を迎え、適切な支援を受けられる体制を構築する。令和3年度は、新型コロナウイルスの感染対策として1回分の開催を中止し2回分の要確認者及び発達に不安がある対象者を呼び出して行った。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
就学前に健診の機会があることで、こどもが心身共に成長しているかみれる機会があつてよい。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 発達・発育状況において、早期治療、療育が必要な子どもへの支援。また、子育て支援や育児不安の軽減を図ることで、次世代を担う子どもが健やかに育つ体制づくりに結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 母子保健法第13条に基づき実施している。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 前年までの比較し、受診率はあがっている。事業内容の見直しや教育関係機関とのさらなる連携をはかることで、要医療、療育の必要な子どもへの対応について、きめ細やかな支援を行っていく。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 疾病の早期発見、早期療育に繋がりにくくなる可能性がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名   乳幼児健康診査事業
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 発育発達に係る問題の早期発見対応及び就学に向けた支援を行うため、母子保健法第13条に基づく乳幼児健診の目的に合致する。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 臨床心理士等の専門職種を配置することでよりきめ細やかな支援と結びつく。事業の精度を高めて行くうえでも削減は難しい。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 対象者に個別通知している。また、未受診者へは、次回受診できることを案内し機会をもうけている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成29年度より開始した事業である。今後は、要医療、療育支援の必要があるお子さんが早期に支援に繋がるよう、事業内容の見直し、教育機関や療育機関との更なる連携を図っていく必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 就学に向けた療育支援体制の確保のため、教育委員会(教育指導課)や生涯学習課(訪問型家庭支援事業)及び認定こども園等の連携の強化を図る。また、児童福祉課、社会福祉課や教育委員会と情報共有し、新たな児童発達支援事業体制の整備を検討する。 5歳児健診事業については、目的及び予算項目が同一のため「333 乳幼児健康診査事業」に含める。また、健診の事後フォロー及び支援については、「345 療育相談事業」に含め評価する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果	④																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 確認 5歳児健診事業については、目的及び予算項目が同一のため「333 乳幼児健康診査事業」に含める。また、健診の事後フォロー及び支援については、「345 療育相談事業」に含め評価する。